

クローバー中

訓 康 愛 耐
校 健 友 忍
是 校
なしとげる
(成 就)
令和8年度
第5号
2026.9.15 発行

挑戦の夏から、確かな成長の秋へ「4つの力」で拓く二学期

「山崎南学園」 宍粟市立山崎南中学校 校長 西村 潤

今年度の夏休みも、連日記録的な厳しい暑さが続く夏となりました。雨が少なかった影響で、例年なら豊作となる夏野菜も枯れてしまい、日々の食卓に並ぶキュウリやナス、トマトといった当たり前のような食材が、今年は大変貴重なものに感じられました。自然の恵みや日々の平穏な生活のありがたさを、あらためて痛感させられる夏でもありました。

一方で、7月28日には熊本県で地震が発生し、多大な被害が出ました。今なお不自由な避難生活を余儀なくされている方々が数多くいらっしゃると思います。被災者のみなさまに心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興と心穏やかな日々が戻りますことを、心より願うばかりです。

さて、夏休み中の本校生徒たちの活動に目を向けますと、厳しい暑さに負けず、各分野でめざましい活躍と成長を見せてくれました。各部活動の集大成となる大会においては、近畿大会出場を果たした女子バレーボール部をはじめ、どの部活動においても三年生を中心に、これまで費やしてきたたゆまぬ努力の成果を十二分に発揮してくれました。勝利に歓喜した瞬間はもちろんですが、惜しくも敗れ、悔し涙を流しながらも互いの健闘をたたえ合った経験、最後まで諦めずにボールを追いつけた姿勢こそが尊く、今後の人生においてかけがえのない大きな糧になると確信しております。

また、各学年で開催された学習会には多数の生徒が自発的に参加し、自身の課題に向き合う姿が見られました。さらに、体育祭に向け、三年生が準備を積極的に進めるなど、生徒一人ひとりにとって大変有意義で、たくましく成長を感じさせる夏休みとなりました。

いよいよ、一年の中で最も長い二学期がスタートいたしました。今年度も早くも五ヶ月が過ぎ、折り返し地点を迎えます。二学期には、本校の学校生活の中でも大きな節目となる体育祭や文化祭といったメインの学校行事が計画されています。

本校では、一学期から生徒たちに「挑戦」することの大切さを伝え続けてまいりました。この二学期においては、これまでの「挑戦」をさらに一歩深め、本校が重点的に取り組んでいるキャリア教育の視点である『かかわる力』『みつめる力』『やりぬく力』『未来をみとおす力』の「4つの力」を、日々の学習や行事の実践の中で具体的に意識させ、育んでまいりたいと考えております。

学校行事は単なる思い出づくりにとどまらず、社会に出てから必要となる人間性を磨くための絶好の学びの場です。具体的には、以下のような姿を通して生徒たちにこの力を実感させていきます。

かかわる力

体育祭や文化祭の準備や練習の過程において、仲間と意見がぶつかった時にどう対話し、お互いの思いを理解しながら手を取り合っていくかという協働の姿勢。

みつめる力

集団活動の中で、自身の強みや課題を自覚し、集団において自分が果たすべき役割は何かを客観的に見つめ直す自己理解の姿勢。

やりぬく力

目標に向かって取り組む中で壁にぶつかったり、上手くいかない時期があったりしても、自分と仲間を信じ、最後まで責任を持ってやり遂げる根気の姿勢。

未来をみとおす力

行事を通して得た成功体験や挫折の経験が、今後の学校生活や自らの将来、進路選択にどのように繋がっていくかを意識し、次の行動を描く先見の姿勢。

仲間と深く「かかわり」、自分を客観的に「みつめ」、課題を最後まで「やりぬき」、その経験から「未来をみとおす」。行事を創り上げるプロセスの中でこの「4つの力」をバランスよく発揮し、磨き上げることがこそが、生徒たちの真の「生きる力」へと繋がっていきます。

本校のスローガンである「自分もひとも大切に」、ともに挑める生徒の育成」の果実が、この二学期の行事や日々の姿の中で大きな大輪の花を咲かせることを、大いに期待しております。

最後に、ヨゼフ・パイオンの著書「おとなのひとにいつてほしかった24のこと」の中から素敵な言葉を紹介します。

「背伸びしなさい」ということ

自分に何ができ、どこまでできるかはやって初めて分かることです。背伸びをしてみても、もしできたら、それは背伸びではなく自分の実力であったということになります。背伸びをしなくては気づかない自分があるということです。「そのままがいい」などという言葉に「ごまかされないことです」「そのままがいい」となると、本当の自分を知らないままで終わってしまいます。

保護者や地域のみなさまにおかれましては、二学期も生徒たちの挑戦と成長の足跡を温かく見守っていただくとともに、本校の教育活動への変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

小中一貫教育の成果と課題

教頭 中井 孝一郎

「併設型小中一貫校 山崎南学園」としてスタートし、はや五ヶ月が過ぎました。小中をつなぐ取組の中で、見えてきた成果と課題等を報告させていただきます。

5月に小中の全児童生徒を24班の縦割り班に分けて交流をしました。

7月に中二がトライやる・ウィークの学びを小五に発表しました。そして、8月の登校日には中三が平和学習の成果を小六に発表しました。

成果としては交流等とおして達成感や自尊心の向上が感じられています。また、教職員の交流が増え、相互理解も深まっています。

課題としては、交流だけにとどまらず、学びをいかに深めることができるかということです。我々教職員にも学び続ける姿勢が求められていると感じています。

保護者・地域のみなさまにおかれましては、これまで同様、ご理解とご協力のほど、どうぞよろしく願います。

第一回リサイクル活動へのご協力のお礼

先月2日にリサイクル活動を実施しました。ご協力いただき、誠にありがとうございました。収益については左記のとおりです。子どもたちのために、有効活用いたします。

第一回リサイクル活動収益 ￥268,500円

9月中旬～10月下旬の主な予定

山崎南中学校

【9月】

18日(金) 宍粟市新人大会壮行会
19日(土) 宍粟市新人大会
25日(金) 第二回英語検定一次
30日(水) 体育祭予行

【10月】

3日(土) 第38回体育祭
5日(月) 振替休業日
7日(水) 英語スピーチコンテスト
8日(木) 到達度テスト(三年)
9日(金) 西播新人・市駅伝大会壮行会
10日(土) 西播新人大会(～11日)
13日(火) 文化祭結団式
14日(水) 命の授業(三年)
15日(木) PTA本部役員会・理事会
17日(土) 宍粟市駅伝競走大会
21日(水) しそバンドフェスタ
30日(金) 中間考査(～22日)
31日(土) 文化祭予行
西播地区駅伝競走大会